

山岳救助隊

令和3年1月～令和3年6月

(上半期)

活動状況!



感染防止
間隔空けて



～山岳救助隊からのお願い～

令和3年は、例年に比べ山岳遭難の発生が**増加傾向**です。

これからの時期、特に、

渓流釣り、沢登り等を楽しむ

方が多くなると思いますので、以下の点に注意してください!

- ・ 無理のない登山計画を作成し、登山届を提出する。
- ・ 家族に行き先を伝える。(しっかりとした目的地を告げる)
- ・ 安全な装備で無理をしない。
- ・ 天候の急変に注意!(ゲリラ豪雨などで発生する鉄砲水が危険です!)

滑落、転落等の防止のため、
「油断せず慎重に」
登りましょう!



親子登山での遭難増加

埼玉県内では、令和3年上半期、34件37人(前年比+15件、+17人)の山岳遭難が発生しました。

遭難者37人のうち、死亡6名、重傷者14人(重症者含む)、軽傷者5人、無事12人でした。

今年は、遭難件数が増加傾向です。そうした中で、親子登山での遭難事案が3件3人(前年比+2件、+1人)発生しています。

主な遭難原因は、親子の別行動による道迷いです。

コロナ禍で、身近なアウトドアとして、気軽に登山を楽しむ家族が増える傾向にあります。

登山中は、子供から目を離さないようにし、安全で無理のない登山をお願いします。



- ・ 無理のない登山計画を。
- ・ 登山中は、子供から目を離さない。
- ・ 子供と別行動しない。

例 下山中、親御さんが疲れてしまい、
子供だけで先に下山させてしまう。

山岳遭難防止訓練

山岳救助隊では、4月中に今年度新規入隊者に対し、新隊員訓練を実施しています。

新隊員訓練では、訓練壁での基本訓練から県警航空隊との合同ホイスト訓練まで山岳救助に必要な技術を習得します。

山岳遭難において埼玉県防災航空隊と連携した救助事案が増加していることから、防災航空隊、県警航空隊、山岳救助隊の3隊合同の山岳訓練を実施しています。

捜索や連絡手段の確認を行い、連携を強化して安全で迅速な救助を目指します。

